

市民公開特別講座を開催しました

「腸の病気 — 新しい見つけ方・治し方 —」



挨拶 名大病院 後藤秀実教授

平成27年12月13日(日)当院南館8階会議室で市民公開特別講座を開催しました。今回の講演は、日本消化器学会東海支部の第98回市民公開講座と合同でした。そのため名古屋市内からだけでなく郊外からも多数の参加がありました。

司会は城浩介副院長。片岡祐司院長から参加者への挨拶があり、主催である日本消化器病学会東海支部長で名古屋大学消化器内科学教授の後藤秀実先生から開会のお言葉をいただいた後、講演が始まりました。講師は、名古屋大学消化器内科 中村正直医師・渡辺修医師、当院の消化器内科 小栗彰彦医師・消化器外科 板津慶太医師の4名でした。

講演会の前半は、当院でも行っている新しい検査方法 飲み込むカプセル内視鏡のお話と、腸の病気 大腸癌の診断と治療のお話でした。内科医が内視鏡で行なう癌治療を動画で見ることができ、大変わかりやすいと好評でした。

後半は、外科医が行う癌治療のお話でした。当院で行っている腹腔鏡下大腸切除術や名古屋大学医学部附属病院(名大病院)で行っているロボット手術の様子がスライドで紹介されました。手術ロボット ダヴィンチは、日本に8台しかないそうです。

そして最後は、「びっくりする大腸の新しい治し方」で腸内フローラ(腸内細菌叢)のお話でした。最近では便移植による治療方法が始まっていること、この地域でも名大病院が初めて行って劇的な効果があったことなど、参加者も驚きと興味でひきつけられて

いました。参加者のアンケートからは、良い話ばかりでなくデメリットの話も聞いて良かった。保険でどのくらい費用がかかるのかなど勉強になった。いろいろな話が聞いて良かった。など、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。



内科医のお話 小栗彰彦医師



外科医のお話 板津慶太医師



公開講座 関係者全員

次回の市民公開講座のご案内。みなさまのご参加をお待ちしております。

第14回 市民公開講座 平成28年2月27日(土) 午後2時開演

テーマ 「気になる骨そしょう症の話」

講師 整形外科部長 良田 洋昇 医師

